

装飾技法「砂子」親子ら体験

半田 日福大ゼミがワークショップ

日本の古典文化に触れてもらおうと、日本福祉大教育・心理学部の松下明生教授とゼミ生7人は6月28日、古来の装飾技法「砂子」の体験ワークショップを新美南吉記念館（半田市岩滑西町）で開いた。

砂子は、下部に網が付いた竹の筒に金箔や銀箔を入れ、振りかけるようにして模様を描く。童謡「たなばたさま」の歌詞に出てきたり、源氏物語絵巻や調度品に使われたりと、昔から日本最高の装飾技法とされてきた。

ワークショップには約30人の親子らが参加。鹿の膠を塗った30枚四方の木板に思い思いに模様付けした。

(内山陽貴)